

こんにちは。

やる気プロデューサーの上田洋輔です。

無料レポートのダウンロードありがとうございます！

今回は、仕事の依頼について考えみます。

例えば、仕事で意味の解らないことを頼まれたとします。

説明を何度聞いても、意味が解らずにいると、

「とにかくやってみて、わからない事があれば、その都度聞いて」と言われますよね。

この状況だと、まずやる気レベル100点満点中の50～60点でしょうか。

しかし、実際作業してみて、やはり意味がわからないと、

やる気レベルは20～30点に落ちてしまいますよね。

そもそも、聞いても意味がわからない段階で、

実際に作業をやってわかるはずがないのです。

ですので、とりあえず、わからないなりに頑張ってやっても

報告すると、こんなもの頼んでいないと言われてしまい、

やる気レベルが0点になるくらいにまで落ちて

最後に、相手にたいして「だったら、自分でやればいいじゃん」となります。

このような経験が、何度か続くと、その先輩や上司は信用を無くします。

そして、あなたは裏でその人達の陰口を言うようになるのです。

と、まー。信用を無くす話をしても仕方ないので、

そのような状況では自分がやる気を無くしてしまうことが

分かったと思いますので、あなたが同じような状況で

依頼をしていないのか考えたほうがプラスの行動が出来ます。

ですので、今度は立場を少し変えて、

どうすればきちんと依頼ができるのかを考えてみましょう。

あなたも神様ではありませんので、

100%わかりやすい説明を相手にしてあげることが

できないと思います。

これは相手もわかっていないのに
「わかりました」ということも含めているので
多分わかっただろうと思って仕事を頼んだとします。

そして、人は仕事を依頼した事で安心してしまい
その後の様子を見ずに結果だけ聞こうとします。

これでは先ほどのあなたがやる気をなくした時に
感じたことと同じ事を相手にしてしまっていることになります。

そこで、少し考えてほしいのですが、
その仕事内容がよくわからない人のサポートを
ほんの少しでもすれば、相手はもっとスムーズに仕事し、
やる気がなくなる状況が減ると思いませんか。

もちろん、たくさん関わってあげるのが一番良いと思いますが、
そこまで時間がなくて、関わってあげることが出来ない場合は、
ほんの少しでもいいので、手伝ってあげましょう。
もしくは、やって見せてあげましょう。

相手は、やる気になり、さらにあなたに深い感謝を覚えます。

周りに常にアンテナを貼っておくことで、
職場環境を良くする事ができるのです。

あなたが、先輩や上司であったのであれば、周りの事を、もう少しよく見るだけで、
周りの人たちはあなたに絶大の信用をおくようになります。

しっかりと、相手が仕事をわかっているのかどうか、
見て適度にサポートをしてあげましょう！

慣れていないと、サポートするタイミングを逃す可能性がありますので、
時間を見て適度に声をかけてあげましょう。

何度か、声をかけてあげることで
困ったときはすぐに相談してくれるはずですよ。

完全に理解できていない仕事をするときは相手は
ものすごいストレスを感じるということを覚えておきましょう。

第1の課題

「周りの後輩や同僚に、「調子はどう？」と言ってまわる」

次は、どのくらいの感情で
人をサポートすればよいのかをお話します。

あなたは、どれくらい困った時に、
どのくらいのレベルでサポートをされたいですか。

「状況により異なる」とか、
「邪魔にならない程度に手伝ってくれればいいよ」とか、
色々意見が出るかもしれません。

まー。実際に状況により異なることが多いと
答える人が多数いそうです。

あまり手伝いすぎるのは、
個人の考えを奪うことになってしまいますし、
「おせっかい」という言葉もあるくらいですので、
手伝うのは程々にした方がいいと思います。

しかし、あなたが相手に何かサポートが、
必要だなと思ったときは、
全力でサポートしてあげてください。

ここで、ちょっと話の矛盾を感じましたか？

困っている人を、ほどほどに手伝うのと、
全力でサポートするって、
話が矛盾しているように感じませんか。

「さっきと話が違うじゃん」と思ったかもしれませんね。
「全力と程ほどどっちなんだよ」と思ったかもしれません。

真逆の事を言っているように聞こえた方には、大変申し訳ありません。
私の表現が良くありませんでしたね。

実際には、全力で相手をサポートすることと、
程ほどに相手を手伝うというのは、全く関連がありません。

全力で程ほどにサポートすることが可能なのです。
どういう意味だろうと思ったかもしれませんが、
もう少し読み続けてください。

私が言っている全力のサポートとは、
あなたの相手に対する姿勢の事を言っています。

ですが、程ほどにというのは
手伝うというのはサポート内容について言っています。

わかりますか。

つまり、「おせっかい」とか「余計なお世話」という言葉は
あなたが相手にしているサポート内容について言われているのです。

あなたが本気の本気で全てをかけてサポートしていれば、
相手は決して嫌な気持ちになることはありません。

これは押し付けではなく相手に良くなってもらおうとする
姿勢を相手は感じる事が出来るので
嫌な気持ちになることはないのです。

つまり、相手が嫌な気持ちになった場合は、
あなたのやっていることは、
サポートではなく押し付けなのです。

いいですか。全力でサポートとは、あなたが寝る間も惜しんで
相手の事を考え、そして、何をしてあげるのが相手にとって
一番良いのかを真剣に考えることです。

そして、そこまで真剣に相手について考えてした行動は、

絶対にマイナスにとられることはありませんし、
もしも、マイナスになってしまった場合は
また相手のことを考えてあげるとよいのです。

そして注意して欲しいのは、ここで考えることとは
自分が相手のために何をしてあげるのかを
考えることです。

決して相手の何かを変えようと思って考えてはいけません。
あなた自身が何をしてあげるのかを
考えることがサポートなのです。

ここを勘違いして、「やってあげる」「言っただげる」のが
サポートだと思っていると、
相手はととても嫌な思いします。

行動と姿勢を間違わないように
相手を全力でサポートしてあげましょう。

第2の課題

「困った人を見つけて、全力で応援してあげましょう」

ここまで、お読みいただきありがとうございます。
このレポートは「やる気が出るブログ」で更新している内容をリメイクしたものです。
もしも、最新の記事を読みたい場合は、http://blog.livedoor.jp/yaruki_consul/へアクセス下さい。

また、「やる気が出るブログ」では、書ききれない内容をメルマガ「いつでもやる気がいっぱい！
(<http://www.real-action.jp/maga.html>)」にて発行しています。あわせてメルマガもご覧下さい。きっとあなたのやる気をもっと出る内容になっています。

最後までお読みいただき、心より感謝いたします！

やる気プロデューサー
上田 洋輔

- ホームページ : <http://www.real-action.jp/>
- E-Mail : info@real-action.jp
- Blog : http://blog.livedoor.jp/yaruki_consul/
- 週間メルマガ : <http://www.real-action.jp/maga.html>
- 日刊メルマガ : <http://www.mag2.com/m/0000275360.html>
- 携帯メルマガ : <http://mini.mag2.com/pc/m/M0088253.html>

メールまたはホームページ (<http://www.real-action.jp/mail.html>) にてお読みになられた感想をいただけると幸いです。

無断転載・複製・転売を禁ず